

本会議の審議状況

- ◎ 平成30年度鹿児島県一般会計補正予算可決 補正後総額811,037百万円
- ◎ 知事の政治姿勢、硫黄山噴火による本県への影響と今後の対策、新たな総合体育館の整備、奄美の世界自然遺産登録に向けた今後の取組、鹿児島港本港区エリアまちづくりなどについて活発な論議
- ◎ 地方財政の充実・強化を求める意見書等を可決

平成30年第2回定例会は、6月4日に開会され、6月22日までの19日間にわたって開かれた。

今議会においては、予算議案2件、予算外議案13件（人事同意議案3件を含む）及び請願・陳情の審査のほか、知事の政治姿勢、硫黄山噴火による本県への影響と今後の対策、新たな総合体育館の整備、奄美の世界自然遺産登録に向けた今後の取組、鹿児島港本港区エリアまちづくりなどについて、論議がなされた。

〈会期日程〉

今期定例会は、6月4日に招集され、会期は6月4日から6月22日までの19日間とされた。

（会期日程は、別掲のとおり。）

〈代表質問〉

代表質問は、6月7日に自民党県議団の西高悟議員及び県民連合の柳誠子議員により行われた。

（質問要旨は、別掲「代表質問一覧表」のとおり。）

〈一般質問〉

一般質問は、6月11日、12日、13日及び14日の4日間にわたり16名の議員により行われた。

（質問者及び質問要旨は、別掲「一般質問一覧表」のとおり。）

〈質疑〉

質疑は、6月14日の一般質問終了後、6月13日に追加提案された議案について、まつざき真琴議員により行われた。

（質疑要旨は、別掲「質疑一覧表」のとおり。）

〈議案〉

今期定例会で審議された議案は、6月4日に提案された議案11件、専決処分報告2件及び議案議1件、6月13日に追加提案された議案1件の計15件であった。

審議の結果、議案はすべて原案のとおり可決、承認又

は同意された。

なお、同意することとされた公安委員会の委員、人事委員会の委員、収用委員会の委員及び予備委員は、次のとおり。

- 公安委員会委員 鏑野孝清
- 人事委員会委員 玉川 惠
- 収用委員会委員 馬場竹彦
- 〃 〃 弓指博昭
- 〃 〃 上山幸正
- 収用委員会予備委員 中島 昇

〈請願・陳情〉

請願・陳情は、新規6件、継続20件について審議が行われた。

審議の結果、1件が採択、5件が不採択、19件が継続審査とされた。

なお、1件が審議未了とされた。

〈意見書〉

意見書は、常任委員会の発議による意見書案3件が、原案どおり可決された。

また、県民連合の議会運営委員及び向井たかまる議員と共産党のまつざき議員発議による意見書案1件が否決された。

（可決された意見書は別掲のとおり。）

（可決された意見書）

- * 地方財政の充実・強化を求める意見書
- * 地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書
- * 白タク行為を容認する規制改革の自粛を求める意見書